

公益社団法人日本山岳会 石川支部報



2014年度(平成26年度)1号 平成26年7月5日発行 1山行、行事報告・・・・・・・・・・・8 3.今後の行事予定・・・・・・・11 4.その他お知らせ・・・・・・・・14

不惑新道・火燈山のシャクナゲは、今年殊の外美しく咲き誇り、新年度第1号の会報にも華を添えてくれました。公益事業の登山道整備には大勢の会員・会友が参加して、事故もなく無事追えることができ、感謝申し上げます。

〇山行•行事報告

1.春山山行 細蔵山(1,551m)

■4月12日(土)

天気 快晴

位置 富山県中新川郡上市町馬場島

距離 登山口から頂上まで約4.5km

メンバー CL 中川、SL 織田、池本、藤江、井上(金大ワンゲル)

コースタイム 金沢 4:45-6:19 ゲート 6:29-6:59 徒渉-7:10 登山口-9:22 P1 2 3 4 m-11:02 頂上 11:20-12:05 P1 2 3 4 m13:47-15:41 ゲート-上市町&アルプスの湯-18:40 金沢

朝4時30分に、イオン杜の里から金大に行く途中の小公園の駐車場に集合して出発の予定が、少し遅れて4時40分過ぎに藤江さんの車で5人相乗りして出発。

森本インターから高速に乗り立山インターで下り上市から馬場島に向かう。伊折を過ぎてしばらく行くとゲートがあり通行止めとなっていた。そこには車が2台止まっていて、テントが1張り張られていた。ゲート前の道路の横には空きスペースあり5、6台縦列駐車可能だったので、そこに駐車し準備を整えて道路を歩いた。

道路には雪が無かったが、道路の上の雪解け 水は凍っていた。私はスパイク長靴だったので、 これから登る急斜面が凍っていたらどうしよ うとちょっと不安を感じた。

30分近く道路を歩くと、川が堰堤でせき止められて広くなっている所に着いた。

中川さんが、ここから早月川を徒渉すると言って川に架けられていたはずの工事用の橋を探したが、流されたのか無かった。やむを得ず一番浅い所を探して徒渉したが、水深は20センチ位あった。私は長靴だったので楽に渡れたが、皆さん苦労したようだ。

一人は水の中で転んで少し濡れたし、一人は バランスを崩した時にカメラを川に落として しまいカメラが使用不能となった。ゲートが開 けば徒渉箇所の道路に車が3、4台止まれる駐 車スペースがあるので、荷物にならないので徒 渉用の長靴を用意してくればいいと思う。 徒渉した後、山裾の杉林の中を上流に向かってしばらく行くと杉林が途切れ、そこが登山口になるが標識はないので、登山口から少し下流の所に、富山県の設置した白くて大きい保安林の看板があるので目印にすればいい。河原と杉林は30センチ位の雪があったが、中川さんによれば例年の半分位とのこと。

登山口からいきなりの急登であるが、登山道には雪がなくどんどん高度が稼げた。急登はえんえんと続き、やがて雪道になったが、雪は堅くしまっていて足が落ち込むこともなく、かといってアイゼンを付けるほどでもなかったので、そのまま登った。

しかしだんだんペースが落ちてきたので、展望のきく1234mの稜線に出る少し前に、中川さんから私と井上君と二人で先に行って頂上に行って来たらと言われ先に行くことにした。

私と井上君が、1234mの稜線に出たのが9時40分頃で、そこは剣岳の展望が開けて気持ちのいいところだったので、しばらく写真を撮ったりして休憩し頂上に向かった。頂上へは、長い稜線を歩き少し下って鞍部に下りてから登り返すのだがそれが長い。鞍部までは、雪がよくしまり快適に歩けたが、そこからは頂上までは標高差約300mの急斜面で木も余りなくやばそうだったので、アイゼンを履くことにした。ただ私はアイゼンを持って来なかったので、スパイク長靴で登った。しかし何度か垂直に近い急な斜面に出くわしたが、そこは雪が固

すぎて、長靴で蹴り込みをいれても歯が立たなかった。先行の井上君のアイゼンの爪の僅かな窪みに足を掛け、ストックを突き刺してバランスをとり、何とかして午前11時過ぎに頂上に着いた。

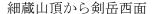
頂上の絶景は、ききしに勝るものだった。剣 岳が真正面にダイナミックにその大きな偉容 を惜しげもなく見せてくれるのである。頂上で 乾杯しようとビールを4本持って行ったが帰 りが心配だったので、軽く飯を食って長居をせ ずに帰路についた。

頂上で井上君から、爪付きのアルミのかんじきを借りて慎重に下ったが、雪が少し柔らかくなってきたので、時間が少しかかったが難なく降りられた。それから皆さんの待っている1234mの見晴らしのいい所まで行って、早くビールを飲みたくて急いだが、以外と長かった。

そこでみんなで剣岳を見ながらビールで乾杯し、昼食のあとすぐ近くにある立山杉の巨木を見て下山した。雪解け水で早月川が増水しているかと思ったが、僅かに増えているだけで難なく渡ることができた。今回の山行で他のパアーテーは、男3人(テント泊)と男2人女1人(日帰り)の2パアーテーだった。

細蔵山は、山頂直下の斜面が急で立木も少ないことから、今日のような朝冷えた時には、雪が固くて靴で雪面を蹴り込むことができないので、出っ歯のアイゼンが必要である。

(文・写真 織田伸治)





2.平成 26 年度石川支部定期総会

■4月19日(土)

場所 白山里(白山市瀬波)

参加者 池本 井村 太田 大庭 岡本 織田 木原 澤村 関本 高田 田中 津田 中川 西田茂 埴 埼 藤江 前川 前田 村上 八十嶋(20名) 広瀬正(会友1名傍聴)

本年度の支部定期総会は、恒例の「白山里」で、参加者 41 名 (出席者 20 名、委任状 21 名) で開催された。

冒頭、中川支部長から、先の役員会議でも提言があった、支部活性化に向けた取り組みの一環として、ホームページの立ち上げ等を含めた年間の基本方針を交えた挨拶があった。

引き続き議事に入り、前年度事業・会計報告と今年度事業(含む会計・役員改選)の審議が 行われ、すべて原案どおり承認された。

主な内容は次のとおり。

本年度事業計画では、各種行事では、会員・会友がより興味をもって参加しやすい企画(場所や内容)に努め、それらの一環として HP を立ち上げ、情報の一層の周知徹底を図る。また、役員改選では、地域バランスの観点から、副支部長を岡本さんから関本さんへ交代する。山行事業活性化から副委員長ポストを新たに設け、前年度本部研修に参加し実力の向上が期待できる八十嶋さんに依頼する。また、自然保護委員では辞退要請が上がっていた長清さんに替わり自然保護活動が豊富な安田さんに依頼した。

引き続き、懇親会に入ったが、二次会を含め、支部活性化に向けた活発な意見等で大いに盛り上がった。今回は、津田さんから山岳パネル写真等の贈呈が支部にあり、総会翌日の朝食終了後同場所でオークションを実施し、収益金を支部経費に充当させていただきました。また、いつもながら井村さんからは、高級酒をお差し入れいただき、共に厚く御礼申し上げます。

(文・写真 前川陽)



3. (公) 富士写ヶ岳~火燈山登山道整備(不惑新道)

■ 4月27日(日)

参加者 11名 関本、織田、村上、西嶋、塚谷、大庭、長清、大庭(太)、織田知人(上野、 小森、岸) 大内登山口に集合(7:30)し、イカリソウ、イワウチワ、ヤブツバキ、ミツバツツジ、タムシバ、シャクナゲなどの花々を愛で、ゆっくりペースで登山道を登る。一汗かいて富士写ヶ岳山頂着(9:40)。すでに先着者20数人がいた。不惑新道入り口に積まれた木の枝を処理した後、火燈山に向けて進み、最低鞍部手前のブナ林で休憩・昼食(10:30)。若葉の出始めた木陰は、涼しくて気持ちがいい。ここを拡げ、枯木の幹を並べ、笹を刈って整備し「ブナの小平休憩所」と名付けた。



1人先行して鞍部から急坂に取付く織田会員のチェンソー音を追って鎌、鋸、チェンソーで刈り払いながら追従。アップダウンの登山道に日差しも強く、作業は辛かったが花々が癒してくれた。その上に被る枯れ木などの除去も作業の一部で環境整備。小倉谷山頂間近で作業終了(14:40)。かつて見たことがないと誰もが言うほど、見事なシャクナゲに彩られた火燈古道。立ち止まりつつ全員が無事下山(16:20)した。(文・大庭保夫)



|4. (公)浅犀みくまりのみち登山道整備 (奥高尾山~順尾山)

■5月24日(土)

天 気 晴れ

参加者 中川、池本、岡本、織田、木村、澤村、関本、西嶋、西田、東野、藤江、前田、村上、八十嶋、町口(村上友人)15名

朝6時30分に、湯涌温泉みどりの里駐車場に池本を除く14名が集合。

先週17日の土曜日に中川、織田、西嶋、 八十嶋が、順尾山から奥高尾山まで事前調査 しながら、チェーンソーで邪魔になる木は伐 採したので、草刈り機で刈りやすい状態にし てあった。

前年は、奥高尾山から順尾山に向けて刈り 込んでいったが、草刈り機が3台であったた めに、心野谷山の手前で時間切れとなってし まった。そのためそこから順野山までは、刈 れなかったのでかなり草木が繁っていた。

今回は、草刈り機6台とチェーンソー1台が揃ったので、奥高尾山に登って刈るチームと、順尾山に登って刈るチーム2班に分けて作業をすることにした。

奥高尾山に登りそこから心野谷山に向かって関本、八十嶋が刈り込み、心野谷山から奥 高尾山に向かって織田、木村が刈り込んだ。

順尾山からは、心野谷山まで行きそこから 順尾山へ向かって中川、岡本、東野、前田が 刈り込み、残りの方は、順尾山から刈り込ん だ。池本は仕事で遅れるので、単独で河内谷 から入り奥高尾山に登り、道の刈り込みを行った。

草刈り機が6台もあったので、作業は順調に進み昼過ぎには全線刈り終えられた。

昼食後、草木の繁りが多かった所を刈り直 ししながら下山した。みどりの里駐車場に順 尾山チームは午後3時半頃に、奥高尾山チー ムは、午後4時頃に到着しその場で解散した。

奥高尾山から順尾山に向かってしばらく下ると、木立の間から大門山や高三郎山が見え

る所があったので、先週事前調査の時に、そ この木立を刈り払い展望をよくしてきた。

みくまりの道は、展望に欠けるのが難点だが、この場所を作ったことにより春は「残雪の犀奥」又秋にはブナの黄葉と、魅力がUPしたと思う。

参加者の皆様、当日は暑い中お疲れ様でした。 登山道らしく復活しあとは少し急なところをステップカットすれば、更に歩きやすくなると思います。

(文・写真 織田伸治)





5. (公) 安全登山教室 (ロープワーク)

■5月31日(土)

場所 白山郷体育館クライミングボード(ボード研修) 倉ケ岳(岩場研修) 参加者 田中(講師) 織田 中川 藤江 前川 八十嶋 池本順 池本誠 木原 (白山フウロ山岳会) 形屋 松井 安藤 (12名)

暑さが予想されたため、当初の予定より早く、7:00AM、鶴来白山郷体育館に集合。今回は、①8の字結び(後輪)②ダブルフィッシャーマン結び ③バックアップをとっての下降器での懸垂下降 の3点に絞って教えていただきました。

参加者のほとんどは、講習会は初めてでは ないはずでしたが、やはり、忘れている! しかも、結び目をきれいに作る事は重要なの ですが、それがとても難しい事であるとしみ じみ実感。 体育館脇のボードでの約2時間 の基礎講習の後、倉ヶ嶽に移動。

岩を登るのは各自の技量としても、いざ懸垂 下降となったとたん、さっき教えていただい たばかりの下降するための手順が全く出来な くて、頭の中は真っ白!岩場の上でもう一度 教えていただき、何とか下降。

昼食をはさみ、2:00PM ごろ体育館に

戻り、今日の復習をして講習は終了。

久しぶりの岩場での一瞬の緊張感は心地良く、参加してよかったと思いました。また、 参加いただいたフウロ山岳会の皆さんの技量 や意欲には、刺激をたくさんいただきました。



倉ヶ嶽の登攀訓練

今日のザイルワークを忘れないように日々努力、そして、次回はもっと参加者が多いといいなと思いながら帰路に着きました。

(文・藤江以住 写真・田中康典)



6. (公)杉峠道登山道整備 三ッ谷~杉峠

■6月7日(土)

参加者 織田 (CL) 安田 池本順 大庭保 北 澤村 関本 中川 長清 西嶋 西田茂 前川 前田 八十嶋 (14名)

私がこの会に入会したのは登山道整備事業 に参加したかったからでした。古道の復活を 行っている会として興味がありました。

2014/6/7 杉峠道登山道整備に参加させていただきました。

参加者 14 名、ノビネチドリ咲く登山口を出発 し白山展望~杉峠、別山展望~白山展望の 2 手に別れ作業を始めました。整備開始から 4 年目だという道は私が参加した 2 年前よりも 広くなっていて間違える箇所もなく歩けるよ うになっていたと思います。ただ縦走をして きて疲れた脚で別山展望から登山口まで降り る急坂は辛くなるかと思います。

参加者の平均年齢 60 代後半?かと思いま

すが、苦労をしたあとに緑の中にきれいに刈りはらわれた道が続いているのを見て達成感を得られたことだろうと思います。皆様お疲れ様でした。

5/24 浅犀みくまり道整備にも参加させていただき奥高尾山~順尾山分岐まで刈り払いが出来ました。後日 10 日後に鎌を持って歩きましたが、奥高尾山南に新たにみくまり道から続く南部の山々が見渡せる展望所が作ってありました。先に大倉山、大門、見越、高三郎山と広がった展望となっていました。さすが先輩諸氏はいい場所を選んでありました。

ありがとうございました。お気に入りの写真 を添付しておきます。

(文・写真 西田茂)





7. (公)石川県安全登山の集い(高倉山)

■6月15日(日) 8時~14時

- ·会 場 高倉山922.2m
- 主 催 石川県山岳協会
- ・目 的 登山を楽しみながら地図読みの研修を行う
- ・参加者 89名(一般参加者51名 山協・山岳会38名)
- · 支部参加者 池本、織田、木村、高田、西田茂、藤江、前田

石川県山岳協会からの協力依頼により石川 支部から7名が参加。当日は梅雨の中休みで 天気がよく、暑い中参加者を8班に分けて、 地図読みとコンパスの使い方の研修を行った。

午前8時に石川県自然保護センターに集合し受付をする。9時に車に分乗し、センター横の林道を登って標高650m付近にある広い空き地まで移動。

そこで各班に分かれ、林道上に設置された チェックポイントをたどり、地図の見方コン パスの使い方を一般参加者に教えながら、林 道の終点まで行き昼食を摂る。

11時40分に高倉山に登るために林道を戻り、途中で今回新しく付けられた道を登る。



下りは、前からある登山道を利用し林道に 下りた。13時30分過ぎに自然保護センタ ーに到着し解散した。

今回の高倉山には、茶色と黒の3センチ位 の毛虫が至る所にいて閉口した。

高倉山の登山口は、林道の広い空き地から少し上がった所に大きく林道がUターンしている所があり、そのコーナーにあるが、標識も案内もないのでわかりにくい。

参加協力していただいた皆さんお疲れ様でした。 (文・写真 織田伸治)

高倉山山頂から大門・大笠を望む



8. (公)清掃登山(医王山ビジターセンター~白兀山)

■6月29日(日)

・参加者 八十嶋(CL)大幡 織田 澤村 関本 中川 埴崎 藤江 前川 宮田(織田知 人) (10名)

朝8時頃、集合場所の医王山ビジターセンタ 今年は毛虫の大発生で樹の葉が坊主になっ 一駐車場へ全員集合する。ここは意外と知られ ておらず、初めての方も多かった。ビジターセ ンターはタップリの駐車場と刈り込まれた広 大な芝生の大地に建つ瀟洒なデザインの建物 で、管理人が常駐しトイレも水洗でとても気持 が良い。

8時20分ゴミ袋を適宜分配し出発する。曇 天の空とガスガスの山、じっとりと汗ばむ湿気 と霧雨は北陸の正しい梅雨そのものだ。関本さ んは朝奥さんから「あんた今日ほんとに行く の」と言われたそうだが、確かにまともな人は 今日は山へは行かないだろう。

豊吉川に沿ってつけられた林道は下を見る と目もくらむ様な高さで上流へ進む。林道の山 側斜面はところどころ岩が崩れそうで薄気味 悪く、そこは足早に進む。

ており、よく見るとカエデ科や朴ノ木等が狙わ れており、人が好む樹は虫も好きらしい。

今回の清掃ルートは JAC の HP で紹介した 「医王山親子登山」の紹介コースで、ビジター センター~三色泉~大池~三蛇ケ滝~トンビ 岩(Or迂回コース)~白兀山で実施した。道 中にはほとんどゴミはなかったが、大池平休憩 所等休憩地点ではゴミがあり、それらを回収し た。途中土砂降りにも遭遇し気が滅入ったが、 とりあえず無事当初の目的は果たせた。なお、 荒天にもかかわらず果敢にトンビ岩に挑戦し た、八十嶋、織田、関本

中川、藤江の各氏と宮田さん、またリタイア 組続出の中白兀山まで完登した中川、織田、 宮田さんには大変お疲れ様でした。

文·前川 写真·中川)





〇その他行事等報告

1. NHKテレビ「幻の百名山 笈ヶ岳」作成協力

■5月3日(土)~5日(月)

- ・依頼元 NHK金沢放送局

- · 案内協力 支部長 中川博人
- ・リポーター 八十嶋仁(支部会員、NHK カメラマン)、矢守NHKカメラマン
- 5/14(水)午後6:10からNHKテレビ「かがのとイブニング」にて 放送

今年は深田久弥の「日本百名山」発刊から 50 周年です。久弥は笈ケ岳を登っていれば「百名 山に入れたかった山」と紹介したこともあって、 ました。なお、同放送は6月2日朝5時からの 幻の百名山として隠れた人気の山となってい ます。

久弥の足跡をたどり、つかの間のにぎわいを見

せる奥山の春の情景を通じて中川支部長の解 説や、八十嶋カメラマンのリポートが放送され 「おはよう日本」、6月12日午後2時からの「情 報まるごと」でもダイジェスト版で全国へ放送 されました。





2. 「深田久弥山の文化館」講演会

- ■5月25日(日) 13時30分~15時00分
- ・場所 「深田久弥山の文化館」
- ・演題 「深田久弥と北海道の山」
- ·講師 JAC 北海道前支部長 滝本 幸夫 氏
- ·参加者 30名

本講演会開催の世話役の大庭保夫さんから 案内をいただき、久しぶりに「山の文化館」を 訪れる。大木を前に静かなたたずまいの木造建 築は窓が開け放たれ、落ち着いた雰囲気がみな ぎっている。

会場正面には白髪の紳士が静かに開始を待 っており、やがて大庭さんの講師紹介の挨拶で 始まる。「北海道の山へ登っていても昨日登っ た富士写ケ岳は結構きつかった」との開口に会 場の雰囲気が和らぐ。

日本山岳会に入会したことや、雄大な北海道の 山々、その中での日本百名山の選定に関し錯綜 する熱い思い等がメインであった。百名山選定 にあたっては笈ヶ岳同様、当時久弥が登ってい ない山を選定することはなかった。そんな中、 講師の滝本氏が心から愛したニペソツ山

(2012.7m) は100名山に漏れてしまう。選 に漏れたことは仕方がないとしても、その素晴 らしさを何とか久弥に分かってもらいたく、ニ ペソツに案内する。東大雪の秀峰であるニペソ 講演は深田久弥(以下「久弥」)との出会いで、 ツは更なる奥深さで人を寄せ付けず、漸くたど

り着いたその姿はピラミダルで神々しく久弥 山の存在を知り、いつか是非登りたく思った次 も絶賛する。今回素晴らしい北海道のニペソツ 第である。 (文・前川 陽)

3. 平成26年度国際委員総会・第33回海外遭難対策研究会

■6月14日(土)~15日

- ・場所 長野県山岳総合センター
- ・参加及び報告者 前川

日本山岳協会主催で石川県山岳協会代表として、この度標記総会及び研究会へ参加してきたので以下のとおり報告します。

- ① 神﨑日山協会長挨拶の主な要旨
 - ・公益化して1年が過ぎたが、内部の意識改革の一層の充実に努めたい。
 - ・高体連登山部門を 48 番目の山岳団体として認定したが、今後積極的に支援していき たい。
 - ・本年11/23アジア山岳連盟創立20周年記念行事として広島山岳平和際が開催される。
 - ・JAC は都岳連を脱退し行政との接点が切れたが、引き続き山岳界への影響力保持を望む。
 - ・海外から見て日本の山岳界は複雑過ぎる。大同団結しなければ山岳界の未来は危うい。
- ② 国際委員会総会[海外登山奨励金について(要点)]
 - ・募集期間が一年単位から半年単位になった。
 - ・選考基準が、先鋭的な登山ばかりではなく、未開地の登山や地域研究、計画に独自性の高い登山も対象になった。具体的には次のとおり。
 - *登山計画が斬新・独創的で、多大な成果が期待できる登山隊。
 - *他団体から協賛金・助成金等の交付を受けない登山隊
 - *前各号に掲げるもののほか、特に奨励金を授与することが適当と認められる登山隊
 - ・登山期間は前期が当該年の9月~翌年2月で申し込みは当該年の6月末まで。 後期が翌年の3月から8月に出発する登山隊で申し込みは当該年の12月末まで。
 - ・奨励金は1登山隊あたり40万円を限度として、予算の範囲内で授与する。

③ 海外登山遭難対策研究会(要旨)

冒頭は谷口けい氏の講演で始まる。

昨年登った北杜夫の「白きたおやかな峰」で有名なディランと連続で挑戦したシスパーレで、ディランは成功するがシスパーレは敗退する。自分はすごいクライマーではないが、誰もやったことがないことを、自分流のスタイルでギリギリまでチャレンジすることが面白いが、それを超えれば遭難する。昔の人は大した装備もなくすごい山に登っていたことには驚かされる。日本の山は緑も多く一番好きだが一番怖い。それはリスクが身近に想像できるから。高度が高いと食事も日本の味でないと胃が受け付けない。

以前は混ぜご飯をもっていったが、白米と「ゆかり」が一番。水の摂取量の目安は千-メートルで1リットル位と決めている。等々、映像を交えた女性初のピオレドール受賞者の体験談は、実

に興味深いものだった。

続いては、寺沢玲子氏の「派遣母体を持たない登山隊留守本部の心得」で、山の責任は「自己 責任」というが、残された家族は山と全く関係のない人が多く、割り切れないものがある。 海外登山で何かがあって連絡先に連絡しても、連絡がつかない場合や自分が連絡先になっている ことすら知らない場合もとても多い。

登山隊の大小に限らず、事務局は一人に絞らず複数必要で、また連絡先も日中と夜間の両方が必要とのこと。

二日目は大西浩氏と山本正嘉氏の高所登山における SPO2 関連についての講演であった。 SPO2 とは血液中の酸素飽和度であるが、大西氏の高所遠征後の SPO2 改善効果の持続については、腹式呼吸(口すぼめ呼吸)が有効であるとの研究成果、山本氏の高所登山の順化トレーニング研修では「+2,000m 仮説」が興味深かった。これは低酸素室を含め、ある高度に十分に順化した場合、そこから+2,000m 位は可能だろうとの説であり、この場合の十分な順化とは、そこで安眠可な状態とのことであった。 但し、現状の研究成果では 6,000 位までの順化が限界で、それ以上は未定とのことであったが、大変興味深い研究発表会であった。

(文・前川 陽)

〇今後の行事予定

各参加申し込みは期日までに担当者もしくは事務局(前川:080-1952-7298 maekawayo@gmail.com) へお願いします。

1. 夏山登山(クリヤ谷~笠ケ岳~双六岳)

- ■7月19日(土)~21日(月)(先のメール案内で、申込完了しています)
- ●日 程:平成26年7月19日(土)~21日(月)
- ●目的地:クリヤ谷〜笠ヶ岳(2898m)〜双六岳(2592m) 〜小池新道より下山
- ●集合時間と場所:午前3:30。もりの里ポケットパーク



●必要経費:交通費(車両単位) 乗車距離約 340 km/10=34 リッター×160=5440 円 高速道路往復(福光~高山南) 3320 円 計¥9000 /同乗者数

●行動予定

7月19日(土)

集合場所 3:30 >中尾温泉口 P 6:00 > 14:00 笠ヶ岳 14:30 > 笠ヶ岳幕営地 行動時間:約8時間。 2000m付近に最終水場あり。

7月20日(日)

笠ヶ岳幕営地 4:30 > 山頂 > 笠ヶ岳幕営地 6:30 > 12:00 双六小屋幕営地 設営後 13:00 > 14:00 双六岳(2860m)往復

7月21日(月)

双六小屋幕営地 5:00 > 5:30 樅沢岳 6:00 > 7:30 双六小屋幕営地 > 9:20 鏡平山荘 10:00 > 12:30 わさび平小屋 13:00 > 14:00 新穂高温泉

●個人装備

夏山テント泊装備一式(レインウエア―・ヘッドランプ・ジャケット・薄手手袋・水筒 1.5l・地形図又は登山地図・サングラス及びストックは必要に応じて。) 山岳遭難保険加入は必須。 団体装備は参加者で協議。

※入山前日雨天の場合、クリヤ谷は渡渉が危険なので、笠新道を登ります。

※21日、体調・天候により 樅沢岳>西鎌尾根>千丈乗越>奥丸山>ワサビ平。

2. 十石山と山研懇親集会

■7月26日(土)~27日

- ・登山 十石山 (じっこくやま) 2,525m
- ・集合場所 白骨温泉駐車場、7月26日5時30分(詳細は後日参加者へ連絡) ※登山に参加しない人は、直接山研に行って下さい。 尚、山研の内山管理人は今年で退職となりますので、お礼の意味も
 - 兼ねて多数ご参加ください。
- · 行 動
 - *26日(土) 6時00分駐車場出発、登山開始 10時00分~11時00分山頂にて昼食 13時00分駐車場、白骨温泉入浴可能 沢渡駐車場から上高地 16時頃山研集合 18時00分夕食

*27 日(日) 7 時 00 朝食後自由行動

・担当者 関本 邦晴 小松市林町 にー21 携帯 090-4682-3172

Emeil kuniharu@dogemail.ne.jp

- ・申込 7月12日(土)まで担当者へメールまたは電話にて
- ・参加費用 4千円前後、交通費は、同乗者で折半とします。
- その他 詳細は、参加人員が決定しだい計画書を作成します。

3.8/11 山の日制定記念 白山大汝避難小屋清掃

再来年より8月11日は「山の日」として国民の祝日となります。

石川支部として「山の日」にどの様な事業が出来るか、熟慮しなければなりません。 故郷の山「白山」にある「大汝避難小屋」は大汝小屋管理会によって維持管理がされており 岩間道・楽々新道・加賀禅定道・釈迦新道を登って来た登山者の「最後の拠り所」として その役割を果たしております。小屋及び周辺の清掃も、恩恵を受けている白山への想いを 馳せる良い機会と考えます。

■8月9日(土)~10日(日)

行動予定

- ・8月9日(土) AM6:00 道の駅「瀬女」駐車場集合―便乗にて市ノ瀬へ移動。 市ノ瀬―別当出合(バス 20 分間隔) >砂防新道より登山>室堂 室堂>大汝避難小屋(清掃に係る方数名)泊 (清掃作業) ※室堂泊の方と大汝避難小屋泊の方に分かれます。 室堂泊の方は、自由行動。
- ・8月10日(日)大汝避難小屋清掃後、室堂班と合流。 AM9:00 観光新道より下山。
- ・担当 中川 博人
- ・申込み 7月19日(土)までに担当者又は事務局へ申込み。 大汝避難小屋泊希望か室堂宿泊(2食付)の希望を申告してください。 尚、大汝避難小屋は狭いので、小屋泊の人選は担当者が決めます。

4.乗鞍岳登山(千町尾根~丸黒尾根を下る)

昨年度は荒天で中止となりましたが、本年度 revenge しますので、是非ご参加ください。

■8月23日(土)~24日(一泊二日)

- ・場 所 乗鞍岳東尾根コース
- ・担当者 長清幸子 (携帯) 090-6278-4995 (e-mail)demmajem@tvk.ne.jp
- ・申 込 8月10日(日)までに担当者もしくは事務局まで電話またはメールにて。
- ・集合地 8/23 (土) 午前5時までにもりの里ポケットパーク
- ・行 程 8/23(土) 金沢〜乗鞍青年の家に車デポ〜朴ノ木平駐車樹へ移動〜バス にて畳平〜乗鞍岳剣ケ峰〜奥千町避難小屋(泊)
 - 8/24(日) 避難小屋〜丸黒山〜国立乗鞍青少年の家〜朴ノ木駐車場へ車回収。 平湯の森(温泉)にて入浴〜金沢
- ・個人装備 登山装備一式 (含むシュラフ) 食料、飲料等 (すべて自己負担) *尾根上で水場はありません。池塘の水を煮沸消毒するか避難小屋から子ノ 原方面へ15分ほど下るかですが、夏場で水があるかの保証はありません。

- ・経費(概算) 5~6千円 (朴ノ木平~畳平片道バス代、車代、入浴代)
- ・その他 事前にコースを地図で把握しておいてください。

5. 第 14 回五支部合同懇親山行(富山支部)

■9月27日(土)~28日

今年の担当富山支部から以下の通り参加募集がありました。**希望者は8月17日(日)**までに希望コースを添えて事務局(前川)までお申し込みください。

- ・場所 世界遺産の里・越中五箇山 新日本百名山「人形山」1726m
- •期日 2014年9月27日(土)~28日(日)
- 宿泊 五箇山温泉 五箇山荘 電話 0763-66-2316富山県南砺市田向 333-1 http://www.gokasansou.com
- 日程 9月27日 15:00 受付 五箇山荘ロビー

16:00 講演「自然に生かされて」

講師 小原耕造 城端山岳会会員 富山県桜守の会会長

18:30 懇親会

9月28日 6:30 朝食

7:00 出発

7:30 中根平登山口(駐車可)

10:00 宮屋敷 1618m 鳥居あり、視界良好

12:30 人形山頂上 1726m 昼食後下山

16:00 登山口(解散)

- ◎希望コースのご申告(申込時に必ずご希望のコースを申告願います)
 - ① 人形山往復コース
 - ② 宮屋敷往復コース(①の途中までのやさしいコース)
 - ③ 観光コース「世界遺産合唱造り集落(相倉: 菅沼)、国指定重要文化財村上家中根」山荘(人形山登山基地、山崎富美雄氏の講和(予定))

6.平成 26 年度全国支部懇談会

本年度担当の埼玉支部より以下の募集要項が来ました。参加希望者は事務局まで。

平成 26 年度全国支部懇談会 募集要項

1 目 的

日本山岳会会員が一同に会し支部の枠を超えた交流をとおして、今後の山岳会全体の活性と会員の登山活動の進展を図ることを目的とする。

2 主 催

公益社団法人日本山岳会埼玉支部

3 期 日

平成26年10月18日(土)~10月19日(日)

開始式を18日(土)午後2時15分から行いますので、会場にお集まりください。

4 会場 • 宿泊

ナチュラルファームシティ農園ホテル

〒368-8558 埼玉県秩父市大宮 5911 番地 1

(電話) 0494-22-2000 (FAX) 0494-23-2000

- ○西武池袋線、西武秩父駅より車で約7分(西武池袋線特急に接続した送迎あり)
- ○関越自動車道 花園 I. Cから皆野寄居バイパス経由で約40分
- 5 参加者

日本山岳会会員(会友を含む) および関係者(見込み人数 約200名)

6 参加費

16,000円 (夕食・交流会費、2日目の朝食、昼弁当代を含む)

両神山に参加する場合は、別途 3000円(バス代と環境整備料)が必要ですが、当日の受付時にお支払いいただきます。

7 申し込み期間

平成 26 年 5月 12 日(月)~7月 31 日 (期間厳守)

8 内容

日時		事業	概 要
	12:00	受付開始	16 時 30 分まで荷物を預かります
	14:15	開始式	オリエンテーション
	14:30	講演会(1)	「埼玉県の山岳遭難事例と安全対策」
	~		埼玉県警山岳救助隊 飯田副隊長
10月	16:30	講演会(2)	「日本地質学発祥の地、秩父からの報告」
18日(土)			秩父まるごとジオパーク推進協議会 吉田健一氏
	16:30	自由時間	チェックイン・入浴等自由時間
	18:00	交流会	懇親会、各支部紹介、ふるさと自慢など
	12:00~	展示会	埼玉の自然の紹介
			(写真・資料など1階ロビーでご覧ください)
	5:50	荷物受付	登山に不要な荷物は「西武秩父駅」へ搬送します
		開始	
	6:00	朝食	A コースから順番に朝食
	7:00	登山(A)	両神山・1723m (日本 100 名山)
10月			しらいざす
19 ⊟(⊟)			白井差登山口より往復 標高差 880m、
			片道 3.2Km 往復 6 時間 (バス移動含み 8 時間強)
			定員 50 名(マイクロバス 2 台)

	8:00	登山(B)	武甲山・1295m (日本200名山)
			登山口までホテルのバスを利用。表参道コース→山頂を経
			て秩父鉄道浦山口駅へ。
			行程 約8Km 6時間(バス・電車移動含み7時間)
	8:45	登山(C)	秩父の山並みを眺めながら、気持ちのよい低山ハイク
			ホテル→ふるさとの道→羊山公園(芝生の広場)→武甲山
			入口石標(安永7年の石碑)→札所 12 番野坂寺→西武秩
			父駅 行程 約 6.5Km、4 時間
	14:00~	解散	西武秩父駅前
	16:00頃		両神山コースは、16 時頃に解散できる予定ですが、登山
			あるいは交通事情により遅れる可能性があるので、帰路の
			スケジュールは余裕をもって計画してください。

9 申込方法

(1) 申込書

支部でまとめての申込み、グループあるいは個人での申込みのいずれの場合も、様式1 の申込書に所定の事項を記入する

(2) 方法

下記①または②のいずれかの方法で申し込んでください。

- ① メールにて、下記メールアドレスに送付する。
- ② 郵送にて、下記事務局に送付する。

(申込書は、日本山岳会 HP→埼玉支部 HP からダウンロードできます)

問い合わせ・申し込み先

日本山岳会埼玉支部 支部懇談会事務担当 松本 敏夫 〒362-0064 上尾市小敷谷 747-6

電 話: 090-5338-0118

e-mail: toshio-matsumoto@jcom.home.ne.jp

(3)参加費の払込

郵便局での「払込取扱票」にて、参加費を払い込んでください。 支部でまとめて申込む際は、申込書とおなじ人数分の参加費を払い込んでください。 両神山に参加希望の方の3000円は、10月18日の受付時にお支払い頂きますので、 参加費と一緒に振り込まないでください。

参加費払込先 (郵便局に備え付けの「払込取扱票」をご利用ください)

口座記号・番号 00140-7-374281

加入者名 公益社団法人日本山岳会埼玉支部

通信欄に支部懇談会会費と記載

(4) 申込完了のお知らせ

前記(2)(3)が確認できましたら、参加者それぞれに受領はがきをお送りします。 また、7月初旬には、詳細資料をお送り致します。

(5)登山コース(A)両神山の登山について

登山口までの道路事情および個人所有の登山道を利用することから 50 名定員・申し込み 順での受付とさせていただきます。また、約6時間の登山行程ですが、帰路の時間を設定 させていただきますので、場合によっては途中で引き返すことがありますので、あらかじ めご承知おきください。

(6) 申し込み後の取り消しについて

参加費を払い込んだ後の参加取り消しについて、ホテル等のキャンセル料が発生した場合は所定の費用を差し引いた額を返却いたします。取り消しの申し入れ日にもよりますが、通信事務費やその他の経費についても差し引かせていただくことがありますので、あらかじめご承知おきください。

10 健康・安全管理

- (1) 山岳保険への加入は、参加者自身でお願いします。
- (2) 登山に参加される方には、「緊急時連絡カード」にご記入いただきます。 登山中はリーダーが持参しますが、解散時に各自に返却します。予めご承知おきください。
- 11 埼玉の山・旅行に関する相談窓口の開設

全国支部懇談会前後の日程を利用して秩父地域の登山等を検討する際の相談窓口を開設します。

E-メールでの相談になります。

相談期間:平成26年5月から9月末まで

担当者 : 遠山元信 e-mail : mt3@nifty.com

12 その他

- (1) 交流会について
 - ○各支部の特色(郷土の芸能、支部紹介、歌、演劇等)をご披露ください。 5 分程度で内容は問いません。ふるってご応募ください。後日、支部代表メールにて、問合せをさせていただきます。
 - ○秩父のフォルクローレグループ「グルーポ・パンカリータス」による演奏があります。 プロのイリチ・モンテシーノス氏(ペルー人で在日 20 年)を含めた素晴らしい演奏をお楽し みください。

○その他お知らせ

1.会員の退会について

西出恵一氏は5月31日を以て、ご高齢を理由に退会されました。 あらためて在会中に賜りました数々のご厚情に深く感謝申し上げます。

2. 「新版日本三百名山 登山ガイド」販売開始

石川支部会員も執筆[6山:医王山(埴崎)、大門山(長清)、大笠山(石森)、笈ケ岳(八十 嶋・中川)、三方岩岳(前川)、白山(西嶋)]した日本三百名山のリメイク版が7月18日山と渓 谷社から発売されます。上、中、下(北陸は下刊)の三刊セットで1刊2300円+税です。

3. 澤村会員から前年度(H25)個人山行報告が次の通りありました。

5/9大嵐谷 5/12丸石谷 5/13大嵐谷 6/6大嵐谷 9/6東高山 10/12丸岡谷(白山釈迦岳) 10/13~14白馬岳頂上小屋泊(猿倉から) 11/16加賀禅定道

|4. 深田久弥「日本百名山」発刊50周年記念事業のご案内|(加賀市より)

- ■深田久弥ゆかりの地散策
- ・とき 7月20日(日)9時~12時 (受付は8時30分~) (小雨決行)
- ・集 合 深田久弥山の文化館(駐車場あり) (加賀市大聖寺番場町18番地2)
- ・コース 深田久弥山の文化館→深田久弥生波の地
- →全昌寺→本光寺→熊坂川散策→錦城山公園下→錦城山公園東丸(記念碑除幕式 式典)
- →江沼神社→深田久弥山の文化館
- ※昼食をご用意しております。※参加無料 要申込
 - ■記念講演「父との思いで」※聴講無料
- ・とき 7月20日(日)13時30分~15時
- ・ところ 大聖寺地区会館(加賀市大聖寺京町1番地)
- ・講師 深田 森太郎氏(深田久弥氏の長男) 深田 澤二 氏 (深田久弥氏の二男)
 - ■日本百名山写真展(H25年度優秀作品)
- ・とき 7月20日(日)~8月11日(月)9時~17時 ※休館日:火曜日 入館は16時30分まで
- ・ところ 深田久弥山の文化館 聴山房

※記念事業の申込・問い合わせ先 深田久弥山の文化館

TEL 0761-72-3313 FAX 0761-72-1181

Email yamabun@mail2.kagacable.ne.jp

5.映画「春を背負って」上映中です。

(早い時期に津田さんからご紹介をいただきました。)

(映画解説画面より Copy)

の記しで初メガホンをとった木村大作が再び監督業 に挑んだ長編作。笹本稜平の原作小説を映画化し、

日本を代表する名撮影監督で、2009年の「劔岳 点 立山連峰を舞台に、山小屋を営む家族とそこに集う 人々の人生や交流を描き出す。

<編集後記>

6月29日、澤村眞治さんと医王山清掃登山でご一緒のことし「最近よくご参加いただきありがとうございます」身につと申し上げたところ、昨年白馬岳へ登った際足腰の力を拝衰えを痛感したので、これではダメだと思いられた出来るだけ支部行事にも参加するように改めた」とます。

のことでした。これをお聞きし、「**う~ん」**と自分も 身につまされる思いがしましたが、澤村さんの行動 力を拝見していると、「**登るなら今でしょ!」**を教え られた気がしました。体は年々確実に衰退していき ます。

日本山岳会石川支部報

発行日 2014年 (H24) 7月3日

発行者 公益社団法人日本山岳会

石川支部長 中川博人

編集者 事務局長 前川 陽

電話 076-232-3555

E-mail isk@jac.or.jp